

資料1 『前回審議会の要旨』

1 公園施設長寿命化計画について

◆ 全国の動向と国の方針

- ・わが国では都市公園のうち、設置から30年経過したものが約3割（10年後には約6割）を占めるなど、公園老朽化が急速に進行している。厳しい財政状況の下、安全性・機能性の確保及び維持管理コスト縮減を図り、重点的・効果的な維持管理や更新投資を行っていくため長寿命化計画の策定が必要であり、国土交通省ではその支援をしている。
- ・国土交通省の定める「公園施設長寿命化計画策定指針(案)」では、老朽化する施設への管理手法や維持更新計画等について示されている。

◆ 札幌市の公園の特徴

- ・昭和50年代、急速に公園数が増加
～1975年に「児童公園100箇所作戦」を開始
- ・政令指定都市のなかで最も公園数が多い。
～都市公園数2,686箇所(H23年度末)は名古屋市の約1.9倍
- ・公園の約6割が整備後30年を経過
～全国平均より、老朽化の割合が高い。

◆ 札幌市における長寿命化計画

札幌市の公園も全国同様、老朽化が著しい。また、公園施設は約8万7千、遊具施設は約1万3千と施設量も多く、遊具施設は整備後20年以上経過したものが7割を占める。このような状況のため、札幌市でも公園施設長寿命化計画策定を行なうものとし、これまでに施設や利用状況の把握などを進めている。

質疑① 公園施設の劣化状況とその対応について

- ◆20、30年たった施設の状況や管理手法を知りたい。
→説明資料のシート06～07でご説明

質疑② 公園施設の維持管理の費用、予算の状況について

- ◆公園にどれくらいのお金をかけていけるのか。市全体の予算の中でどれくらい占めているのか。
→説明資料のシート08でご説明

質疑③ バリアフリー化について

- ◆これからはバリアフリー機能などがキーワードになると思うが、今回の諮問に入っていないようだが。
→(市)考え方としては長寿命化計画に組み込んでいく。ただし、本市では既に別の方針に沿って進めているので、今回の諮問対象とはしない。
→説明資料のシート09でご説明

質疑④ 長寿命化計画における上位計画との関連について

- ◆上位計画の考え方とどう結びつくのか。
→説明資料のシート10でご説明

2 札幌市独自の課題

少子高齢化に伴い地域ニーズが変化している等により、札幌市の公園施設には課題が生じている。

課題① 公園機能の重複や地域ニーズとのずれがある

- 1) 1000㎡未満の狭小公園の占める割合が57%と過半数を占めており、主な政令指定都市の中でも、その数・割合が高い。
- 2) 公園が密集し、機能の重複が多くの地区で発生

課題② 有料運動施設の施設規模と利用状況にずれがある

有料運動施設の維持更新費は高く、利用状況を勘案し、効果的な配置や規模（面数など）を検討する必要がある。

課題③ 公園トイレ数が多く、利用の少ないトイレもある

- ・公園トイレの維持管理費は約3億円（14%）と維持管理に占める割合が高い。
- ・トイレ利用の少ない公園トイレがある。

3 諮問の内容

札幌市公園施設長寿命化計画を、効率的・効果的に実施していくため

①公園の機能分担の考え方

②有料運動施設のあり方

③公園トイレのあり方

その基本的な考え方について諮問いたします。

諮問①「公園の機能分担の考え方」についてのご意見・ご質問

- ◆街区公園によっては近くにコミュニティ施設があったりするなど、公園だけではなく周辺状況を踏まえて判断していく必要がある。
- ◆ニーズのずれについての把握方法、また具体的なニーズは何なのか。
- ◆雪の問題、公園に雪を捨てざるを得ない状況が発生している。積雪寒冷地の特徴として、雪搬入・処理の対策も盛り込んでどうか。遊具をいためない雪の捨て方などの対処があるのではないか。

諮問②「有料運動施設のあり方」についてのご意見・ご質問

- ◆具体的に何を議論するのがわかりづらいので、補足を増やしてほしい。

諮問③「公園トイレのあり方」についてのご意見・ご質問

- ◆公園トイレをちゃんと残すことで、高齢社会において、札幌の公園の良い特徴とすることもできる。
- ◆別の都市機能との役割分担もあわせるとより良い形になるのでは。コンビニが多い時代、トイレなど、都市的機能について民間との役割分担もある。

札幌市まちづくり 戦略ビジョン

戦 略 編

SAPPORO

2013-2022

平成25～34年度

札 幌 市

成果指標

指標選定の考え方	指 標	現状値	目標値
公共交通の質的充実度を示す指標	公共交通に対する満足度	74.7% (平成 24 年度)	90% (平成 34 年度)
公共交通の利用度を示す指標【再掲 25 ページ】	公共交通の利用者数	108 万人／日 (平成 24 年度)	110 万人／日 (平成 34 年度)

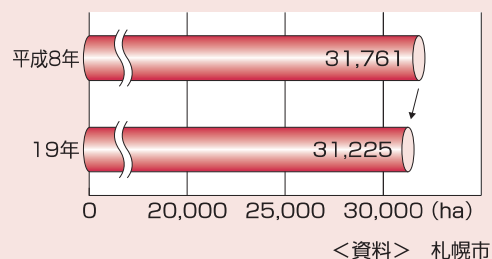
7-③ 自然との共生とみどり豊かな都市づくりの推進

現状分析と施策の方向性～SWOT 分析より～（138 ページ参照）

自然と共生したライフスタイルは札幌の魅力である一方で、自然環境を象徴するみどりの総量は、開発などを要因として減少傾向にあり、また、札幌市の市街化区域の緑被率¹⁶⁴は、政令指定都市の平均を下回っています。

こうした中、札幌の魅力を維持・向上し、環境負荷を低減していくためには、自然環境の保全を図るとともに、都市を取り囲む豊かな自然と共生する、みどり豊かな都市づくりが必要です。

図 1-8 緑被面積



都市を取り囲む自然の恩恵を享受できる札幌らしい豊かな都市環境と景観を次世代に引き継ぐために、生物多様性¹⁶⁵や森林などの自然環境の保全、みどりの創出とネットワーク化を推進します。また、市街化調整区域¹⁶⁶については、自然環境の保全を前提としつつ、その特質を生かした土地利用の在り方の検討を進めます。

¹⁶⁴ 【緑被率】一定の広がり地域で、樹林・草地、農地、園地などの緑で覆われる土地の面積割合で自然度を表す指標の一つ。

¹⁶⁵ 【生物多様性】地球上の多種多様な生き物全てがそれぞれ支え合い、つながり合いながら生きている状態を表した概念であり、生態系・種・遺伝子の3つの多様性からなるもの。

¹⁶⁶ 【市街化調整区域】都市計画法（第7条）により、都市計画に定める区域区分の一つであり、無秩序な市街化を防止するために、市街化を抑制すべき区域をいう。

公園の機能再編や子どもの遊び場づくりの推進

●公園の機能再編・再整備などの推進

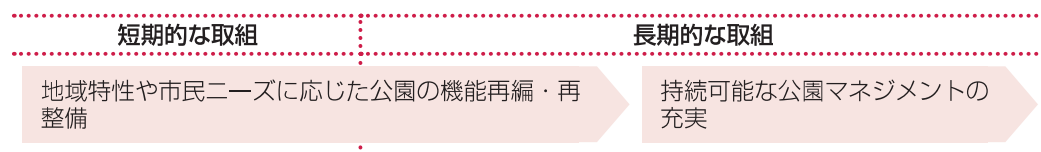
市民の日常的な公園の利用を促進し、健康増進やコミュニティの活性化を一層図るため、都心周辺部などの既成市街地¹⁶⁸における公園整備や、地域特性・市民ニーズに応じた公園の機能再編・再整備に取り組み、持続可能な公園マネジメントを進めます。



●子どもの主体性を育む遊び場づくりの推進

子どもの自主性、創造性、協調性を育むために、子どもを見守るボランティアの養成などを通じて、既存の公園や公共空間などを活用しながら子どもが自由に遊べる場（プレーパークなど）の拡充を図ります。

〔ロードマップ〕



森林の保全や市街化調整区域の特質を生かした土地利用を進めます。

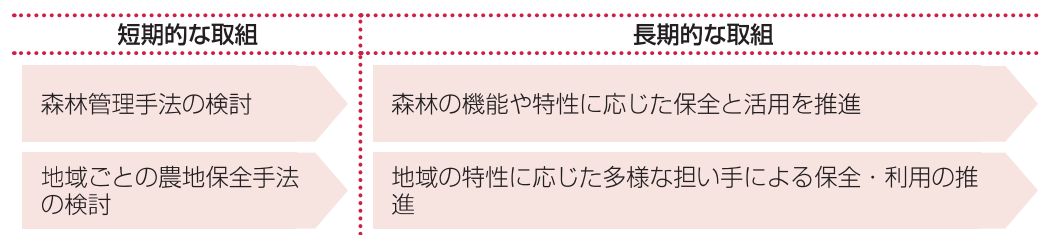
森林管理や農地保全の推進

二酸化炭素の吸収源や水源の涵養といった、森林機能を保全するために、天然・人工林の区分に応じた森林管理手法を検討・実施します。

また、農作物の生産のほか、良好な景観形成、健康づくり、レクリエーションの場など、多面的機能を持つ農地を保全し、その機能を生かしていくため、地域の特性に応じた多様な担い手による取組を推進します。



〔ロードマップ〕



成果指標

指標選定の考え方	指 標	現状値	目標値
市民の生物多様性の理解度を示す指標	生物多様性の理解度	33.1% (平成 23 年度)	70% (平成 34 年度)
札幌市のみどりの豊かさを示す指標	保全されているみどりの面積	21,422 ha (平成 24 年度)	21,800 ha (平成 34 年度)

¹⁶⁸ 【既成市街地】 ここでは、都心の周辺部など、古くから開けている市街地をいう。



実現しようみんなの手で
人とみどりが
輝くさっぽろ

札幌市 みどりの基本計画



平成23年(2011年)3月

※地域コミュニティ

コミュニティは、地縁、血縁、文化的背景、価値観などにもとづく共同体であり、そのうち、地縁的な要素の大きいものを地域コミュニティとする。

■柱4 公園の魅力の向上

公園は、美しい都市景観を形成し、訪れる人に安らぎやうるおいなどの心理的効果をもたらすほか、災害時の避難場所として利用されるなど、都市の安全性の向上に重要な役割を果たしています。

これらの役割を効果的に発揮させるため、財政的な制約が厳しさを増す中で、既存施設の有効活用や効率的な維持管理に力点をおいた施策の方向転換が必要です。

この推進プログラム「公園の魅力の向上」では、周囲の環境や市民(住民)のニーズに対応しながら、公園の機能の見直しや充実を進めることにより、みどりの将来像のひとつである「私たち誰もが安心して活用できる人に優しいみどり」を実現するための施策を展開していきます。

主な取組みとしては、市民が安全かつ安心して利用できる公園の効率的な管理運営を進めるとともに、公園の機能を充実させ、市民ニーズを踏まえた公園の利活用を進めます。



■柱4 公園の魅力の向上

●推進プログラム	●施策の方向性
⑩安全安心と地域コミュニティをはぐくむ公園の管理・運営を進めます	⑩-1 安全と効率を重視した公園の維持管理
	⑩-2 市民の満足を高め愛着をはぐくむ公園の運営と施設の見直し
	⑩-3 公園の管理・運営への市民参画の推進
⑪人・まち・環境に役立つ公園の機能を充実します	⑪-1 大規模公園の機能の充実
	⑪-2 身近な公園の効果的な配置
	⑪-3 すべての人にやさしい公園づくり
	⑪-4 都市景観に配慮した公園づくり
	⑪-5 災害に強いまちづくりに資する公園づくり
	⑪-6 環境保全に資する公園づくり
⑫市民のニーズを踏まえた利活用の促進を図ります	⑫-1 市民や観光客にとって魅力ある公園づくり
	⑫-2 市民に親しまれ活用される公園づくり
	⑫-3 冬季間における公園の活用の促進

推進プログラム ⑩ 安全安心と地域コミュニティをはぐくむ公園の管理・運営を進めます

安全と効率を重視した公園の管理と、地域特性や市民ニーズを踏まえた公園施設の見直しを進めるとともに、市民・活動団体・企業などと連携して市民の満足度を高め愛着をはぐくむ公園運営を進めます。

⑩-1 安全と効率を重視した公園の維持管理

○市民が安心して公園を利用できるよう、安全を重視した維持管理を行いながら、より一層計画的かつ効率的な維持管理を進めます。

⑩-2 市民の満足度を高め愛着をはぐくむ公園の運営と施設の見直し

○市民の満足度を高めるために、市民ニーズを把握するなど、地域の状況を踏まえつつ、利用者の視点から公園施設とその運営を見直し、市民に愛される公園づくりを進めます。

⑩-3 公園の管理・運営への市民参画の推進

【多様な市民の管理運営への参画の推進】

○個人・団体などの多様な市民が公園の管理運営に参画することで、市民がみどりとふれあうことができる機会を増やすとともに、公園における市民活動を起点とした地域コミュニティの醸成につなげていきます。



学校との連携による公園の清掃【屯田公園】

【協働による管理運営のためのしくみづくり】

○民間による公園施設の設置や管理、PFI などの民間資金の活用、CSR活動の一環としてみどりに関する取組みを進めてもらうためのインセンティブの導入など、民間活力を導入した公園管理のしくみを検討し、協働による公園の管理運営を推進します。

※PFI(Public Finance Initiative)

(パブリック・ファイナンス・イニシアティブ)公共施設等の建設・維持管理・運営などを民間の資金、経営能力、技術を活用する手法。

※CSR(Corporate Social Responsibility)

(コーポレート・ソーシャル・レスポンシビリティ)企業の社会的責任。企業は社会的な存在であり、自社の利益、経済合理性を追求するだけではなく、ステークホルダー(利害関係者)全体の利益を考えて行動するべきであるとの考え方であり、倫理に基づく行動、法令の遵守、環境保護、人権擁護、消費者保護などの社会的側面にも責任を有するという考え方。

※インセンティブ

人の意欲を引き出すために、外部から与える刺激、動機づけ、誘因。

<計画進行管理の指標>

- * 公園機能の見直しを図った公園の数(再掲)
- * 身近な公園に対する市民の満足度(再掲)
- * 公園の管理や運営への参画数(団体・個人)

※オープンスペース

公園・広場・河川・農地など、建築物などによって覆われていない空間。

⑪-2 身近な公園の効果的な配置

【機能分担の見直し】

○身近な公園(住区基幹公園など)については、地域ニーズや特性、公園の配置状況などを踏まえ、地域ごとに機能分担を見直しながら再整備を進めます。

【公園が少ない地域での公園づくり】

○旧市街地など公園が少ない地域では、再開発事業などの機会をとらえて公園の確保を図るとともに、さまざまなオープンスペースを活用して、公園機能の確保に努めていきます。

⑪-3 すべての人にやさしい公園づくり

○すべての人にやさしい公園づくりを目指し、高齢者や障がい者などのニーズを踏まえ、多様な市民の参画のもと、どこでも・だれでも・自由に・使いやすい公園づくりを進めます。



やさしい公園づくりを考える話し合い[白石東公園]

第3次札幌新まちづくり計画
SAPPORO 2011-2014
平成23～26年度

札幌市

札幌市

政策目標4 みんなで行動する環境の街

● 重点課題2 多様で豊かな自然を守り、育てるまちづくり

施策の基本方針

みどり豊かな美しい風格のある街並みを実現するため、市民や企業とともに、誰もが安心して活用できるみどりの保全と創出を進めます。また、豊かな自然環境や生物多様性*を守るため、札幌に息づくさまざまな動植物の保全に取り組むとともに、市民が動物に親しむ機会を充実します。

4-2-1 協働で取り組むみどりの保全・育成

市民・企業と連携してみどりづくりを進めるため、都心部のみどりのボリュームアップにつながる新たな助成制度を創設するとともに、市民植樹祭など市民や企業と連携する取り組みを進めます。また、身近な公園について、市民参加により必要な機能を見直ししながら、再整備を進めます。

事業名・担当部 (計画事業費)	事業内容 達成目標
みどり豊かな街づくり 支援事業 環) みどりの推進部 [78百万円]	花とみどりの豊かな街づくりを進めるため、タウンガーデナー*など市民ボランティアに対する支援を行うとともに、都心部のみどりのボリュームアップを図る新たな助成制度を創設します。 ○新たな助成制度の創設 H22: - ⇒ H25: 創設
さっぽろふるさとの 森づくり事業 環) みどりの推進部 [36百万円]	公園予定地における市民植樹祭などの企業やNPO*との連携による森づくりを実施するとともに、市民参加による苗木づくりや樹木の育成活動を行います。 ○さっぽろふるさとの森づくり事業による植樹面積(累計) H22: - ⇒ H26: 30,000m ²
地域と創る公園再整備事業 【再掲】 環) みどりの推進部 [2,604百万円]	身近な公園(住区基幹公園*)を対象に、地域のニーズや特性などを踏まえ、市民参加により必要な機能を見直ししながら、公園の再整備を進めます。 ○市民参加により機能の見直しが見られた公園数(累計) H22: 314カ所 ⇒ H26: 411カ所
市民参加型さっぽろ元気 ファームモデル事業【再掲】 経) 農政部 [5百万円]	市民が気軽に農業体験が可能な機会を創出するとともに、農地の保全を目的として、農家、NPO*、行政、企業等の協働によるモデル体験農園を開設します。また、市民が農業を考えるための市民農業フォーラム(公開討論会)を開催します。 ○さっぽろ元気ファームの開設数 H22: - ⇒ H26: 2カ所
みどりとふれあい豊かな 地域づくり事業 清) 市民部 [4百万円]	区のまちづくりの視点「みどり」をキーワードとして、みどりのカーテン推進による環境に配慮した生活への意識啓発を行うとともに、地域におけるふれあいの場を創出するためガーデニング*を普及促進することにより、みどり豊かなまちづくりを進めます。 ○みどりのカーテンモニター参加者数(累計) H22: - ⇒ H26: 100人

***生物多様性** 地球上の多種多様な生き物すべてがそれぞれ支え合い、つながり合いながら生きている状態を表した概念であり、「森林や河川などさまざまな環境があること(生態系の多様性)」「いろいろな生き物がいること(種の多様性)」「それぞれの種の中でも個体差があること(遺伝子の多様性)」の3つの多様性がある。

***タウンガーデナー** 花やみどりに関するまちづくり活動に取り組むこととして札幌市に登録したボランティア。ボランティアを中心とした情報共有やネットワークづくりを通して花とみどりのまちづくりを推進する。

***住区基幹公園** 身近な生活圏に整備される街区公園、近隣公園、地区公園。

***ガーデニング** 草花を植栽したり、柵や石畳などで装飾するなどの庭造りのこと。

4-2-2 安らぎを感じる憩いとうるおいの場の創出

みどり豊かな美しい景観づくりを進めるため、都心部や主要幹線において、街路樹のボリュームアップを図ります。

また、地域の公園について、誰もが安全に安心して利用できるよう、バリアフリー*化を図るとともに、市民参加による身近な公園の再整備を進めます。

事業名・担当部 (計画事業費)	事業内容 達成目標
都心部みどりの空間づくり事業 環)みどりの推進部 [58百万円]	都心部において、街路樹をみどり豊かな姿に育て保つとともに、北国の花で彩ったコンテナガーデン*の拡大を行い、市民や観光客が安らげる癒やしの空間づくりを進めます。 ○都心部の樹冠形成*路線数 H22：－⇒H26：12路線 ○コンテナガーデン*の設置箇所数 H22：2カ所⇒H26：4カ所
主要幹線みどりのボリュームアップ事業 環)みどりの推進部 [140百万円]	地域と地域をつなぐ主要幹線において、重要な構成要素である街路樹を、その特性に合わせた姿に育てることにより、みどり豊かな美しい道路景観づくりを進めます。 ○主要幹線の樹冠形成*路線数 H22：－⇒H26：22路線
安全・安心な公園再整備事業 環)みどりの推進部 [3,590百万円]	誰もが安全に安心して利用できる公園を目指し、園内の段差解消、ベンチなどの休憩施設の整備やトイレの身障者対応により、バリアフリー*化に対応した公園の再整備を行います。 ○公園のトイレの身障者対応率 H22：30%⇒H26：34%
地域と創る公園再整備事業 環)みどりの推進部 [2,604百万円]	身近な公園（住区基幹公園*）を対象に、地域のニーズや特性などを踏まえ、市民参加により、必要な機能を見直しながら、公園の再整備を進めます。 ○市民参加により機能の見直しが図られた公園数（累計） H22：314カ所⇒H26：411カ所
丘珠空港周辺のまちづくり事業 環)みどりの推進部 [2,038百万円]	丘珠空港と周辺地域との調和した発展を目指し、「丘珠空港周辺のまちづくり構想」に基づいて丘珠空港緑地の整備を進めます。 ○丘珠空港緑地整備面積 H22：25.2ha⇒H26：32.0ha

* コンテナガーデン さまざまな容器に草花を寄せ植えしてつくる栽培法。

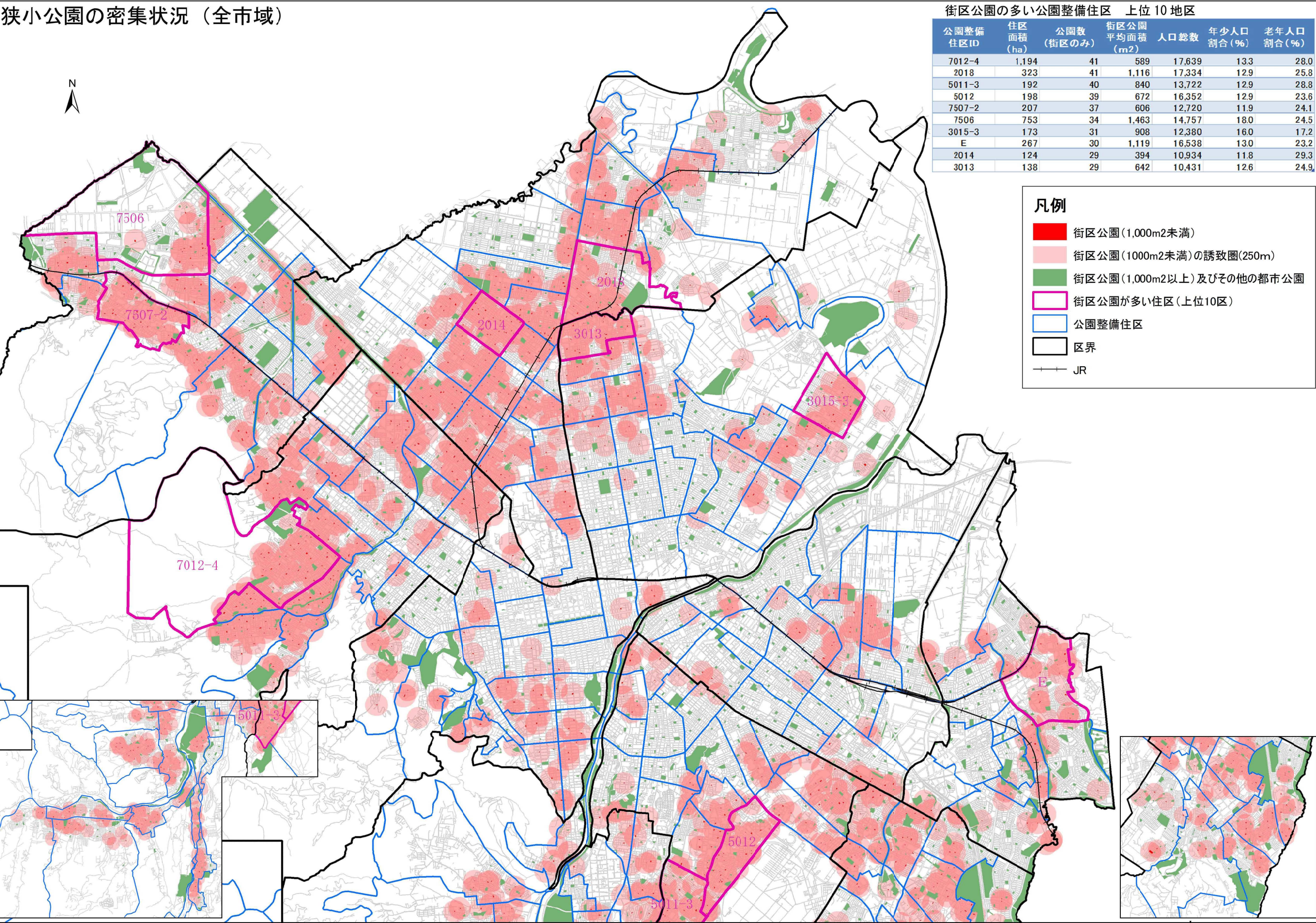
* 樹冠形成 街路樹の枝や葉の茂っている部分（樹冠）をみどり豊かな姿に育て保つこと。

政策
目標 4

重点
課題 2

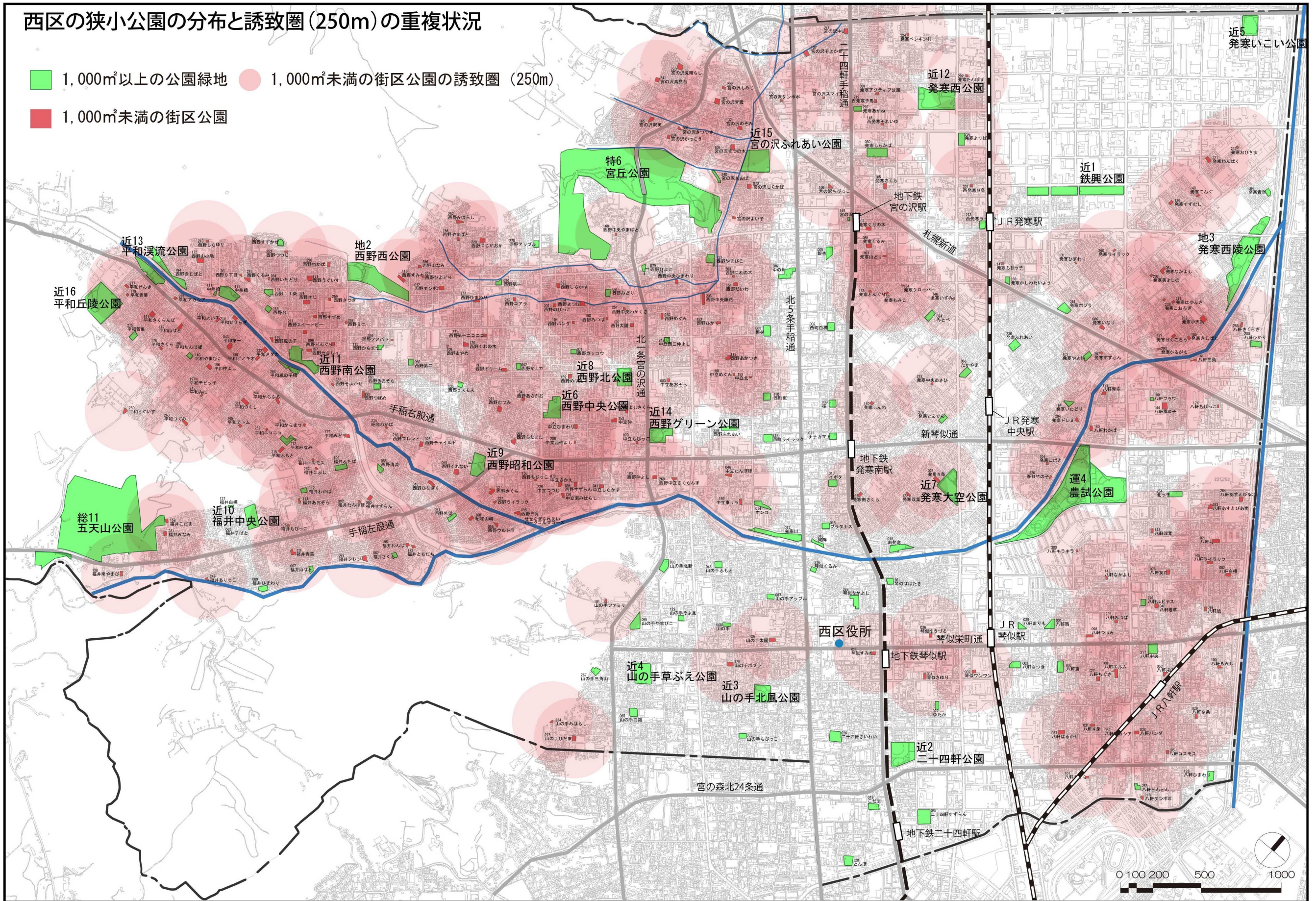
多様な豊かな自然を守り、
育てるまちづくり

狭小公園の密集状況（全市域）



西区の狭小公園の分布と誘致圏(250m)の重複状況

- 1,000㎡以上の公園緑地 1,000㎡未満の街区公園の誘致圏(250m)
- 1,000㎡未満の街区公園



資料 4 街区公園利用者数調査結果（平成 21 年度実施）

1、公園面積と公園利用者数の関係

公園の面積区分毎の 1 ヶ所当たりの利用者数は、公園面積が大きくなるにしたがって多くなる傾向があった。

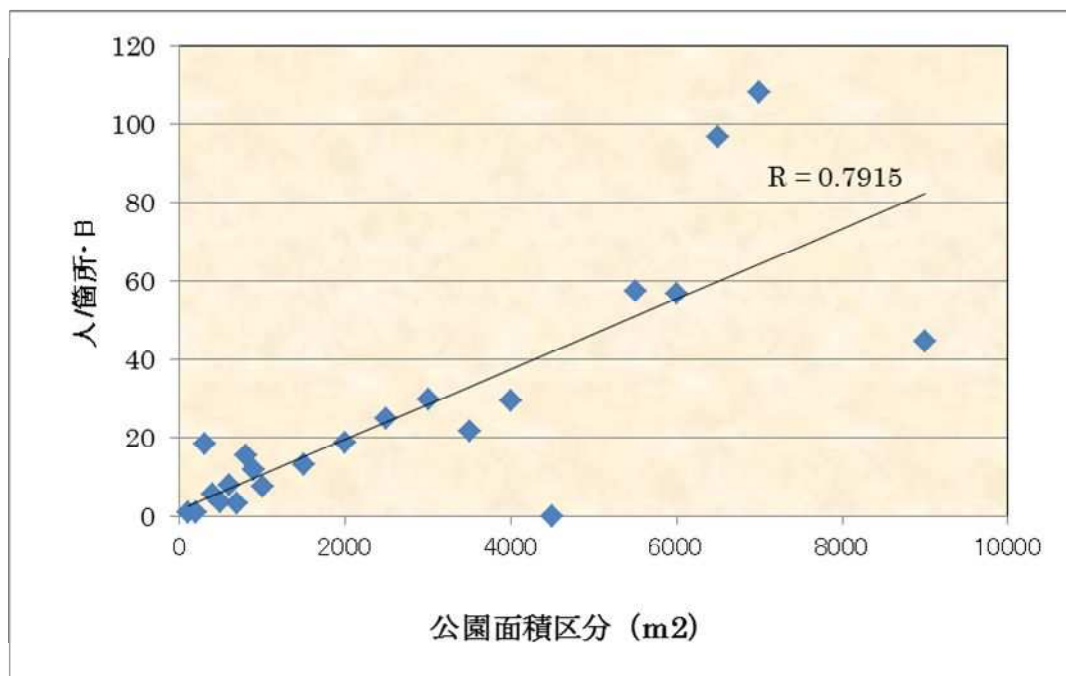


図 1 公園面積と公園利用者数

2、告示年度と公園利用者数の関係

告示年度と 1 ヶ所当たりの利用者数は、ともにばらつきが大きく、明確な傾向はみられなかった。

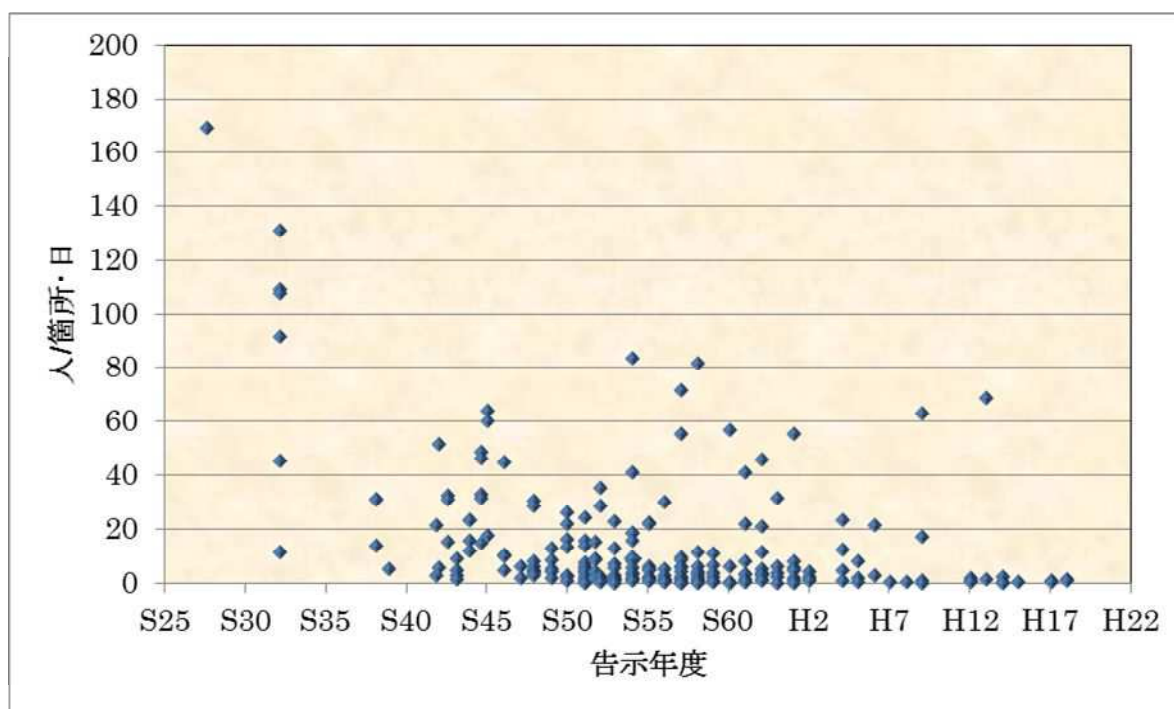


図 2 告示年度と公園利用者数

3、人口構成と公園利用者数の関係

0歳～14歳までの年少人口の割合が9%～15%の階級での範囲では、年少人口の割合増加に伴って公園利用者数が減少しているものの、明確な傾向は見られなかった。

また、65歳以上の老年人口との関係においては、15%～26%の階級の範囲で、増加に伴い公園利用者数が減少しているが、明確な傾向は見られなかった。

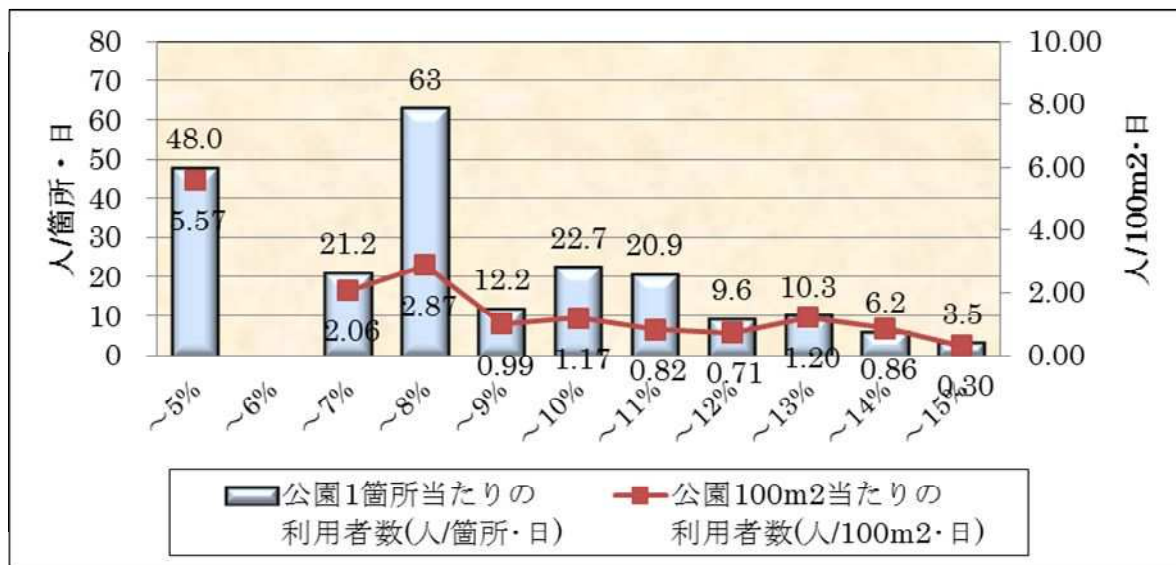


図3 年少人口の割合と公園利用者数

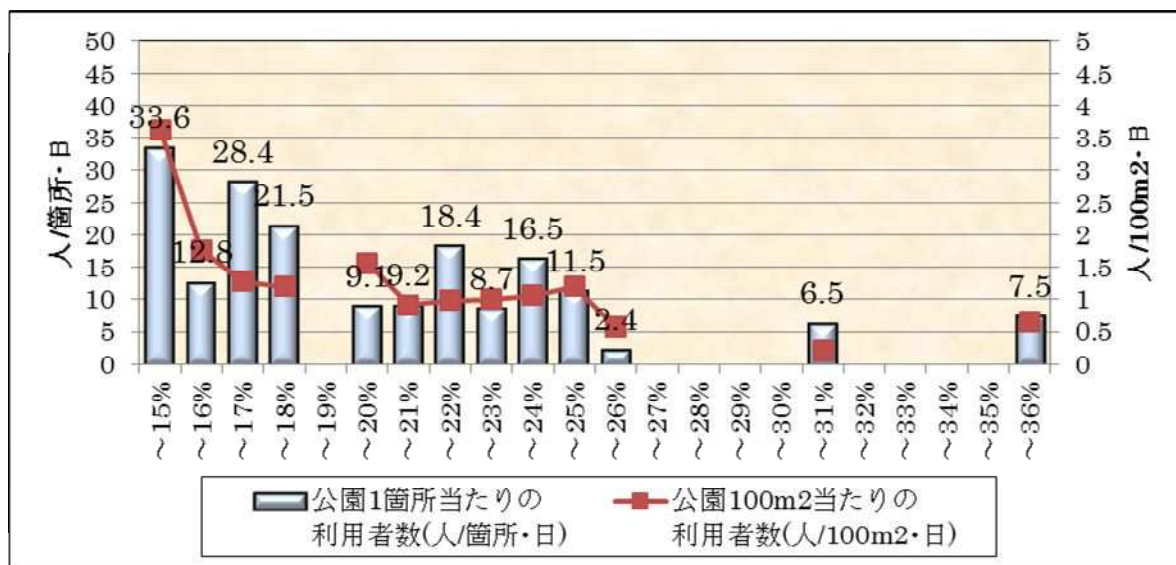
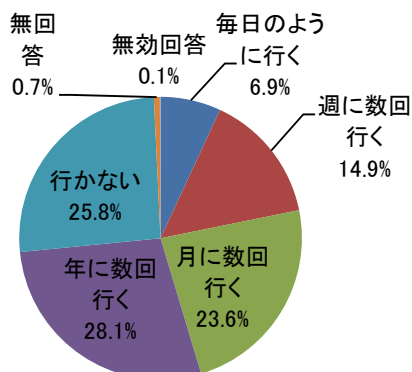


図4 老年人口の割合と公園利用者数

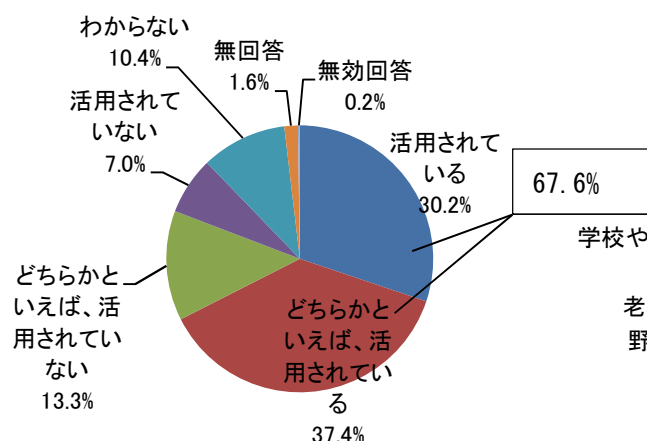
テーマ2 身近な公園について

質問 2-1 あなたは、身近な公園にどれくらい行きますか。

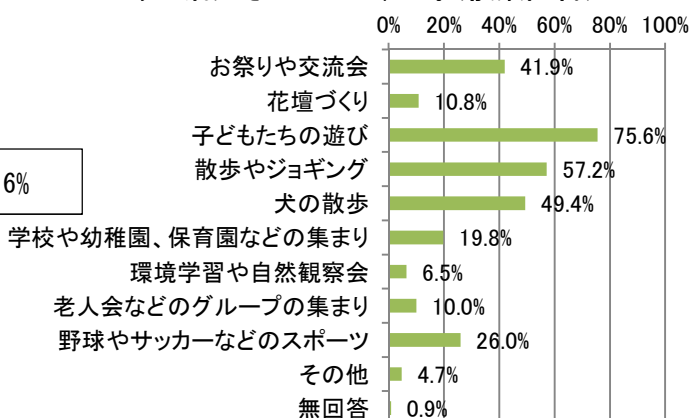


質問 2-2 あなたは、身近な公園に対してどのような感想や考えをお持ちですか。

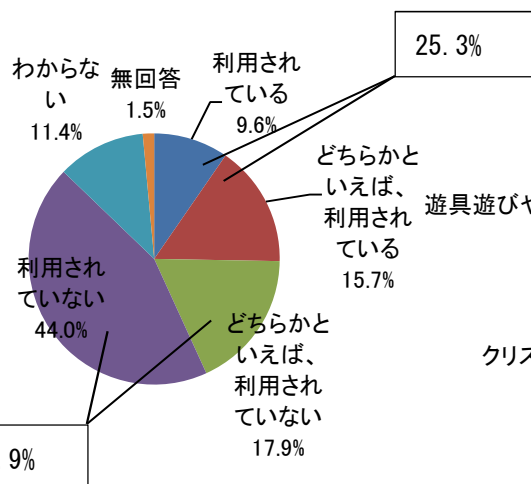
(1) 身近な公園は、普段からみなさんの交流の場、遊び場などとして活用されていると思いますか。



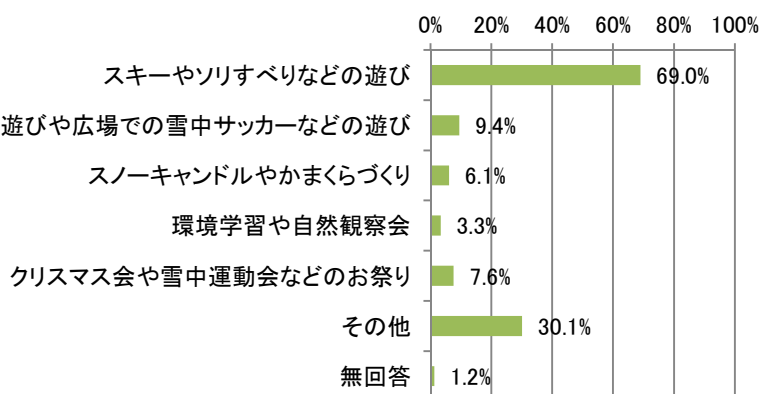
(2) 上の(1)の項目で、「1 活用されている」「2 どちらかといえば、活用されている」を選んだ方にお聞きします。身近な公園は、普段どのように活用されていますか。(複数回答)



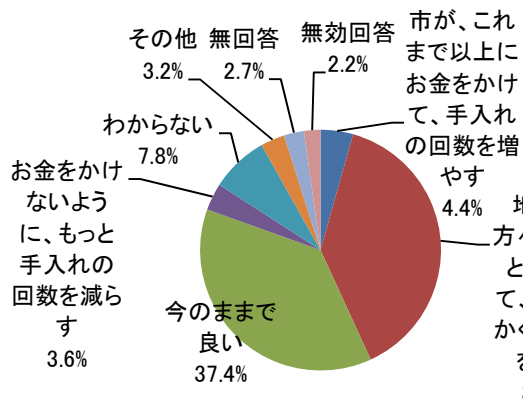
(3) 身近な公園は、冬も利用されていると思いますか。



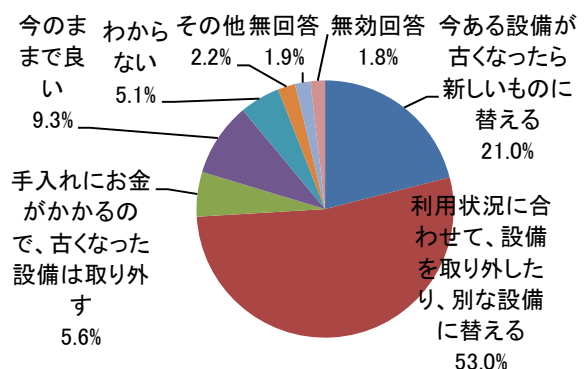
(4) 上の(3)の項目で、「1 利用されている」「2 どちらかといえば、利用されている」を選んだ方にお聞きします。身近な公園は、冬はどのように利用されていますか。(複数回答)



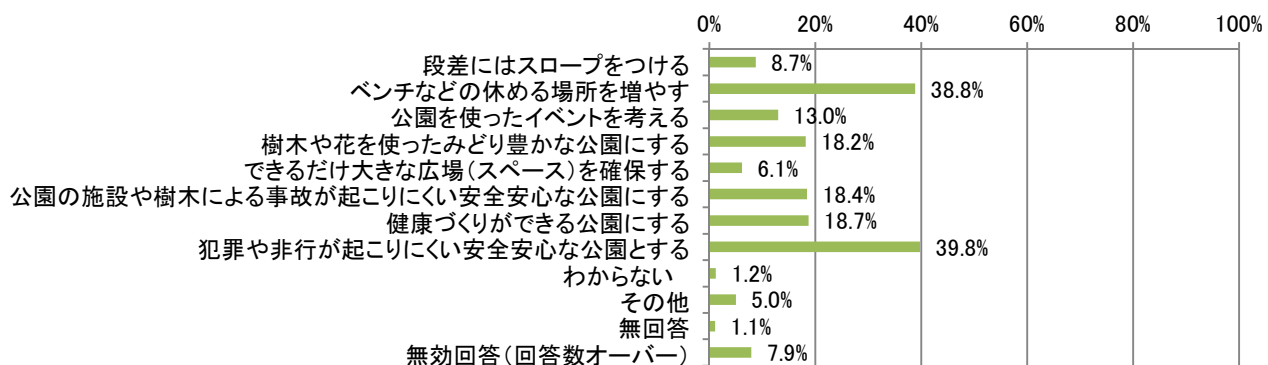
(5)あなたは、身近な公園の清掃や草刈などの手入れを、今後どのようにしていくことが良いと思いますか。



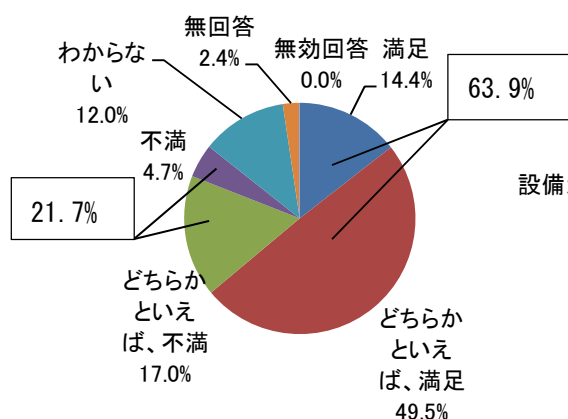
(6)あなたは、身近な公園の遊具やベンチなどの設備を今後どうしていくことが良いと思いますか。



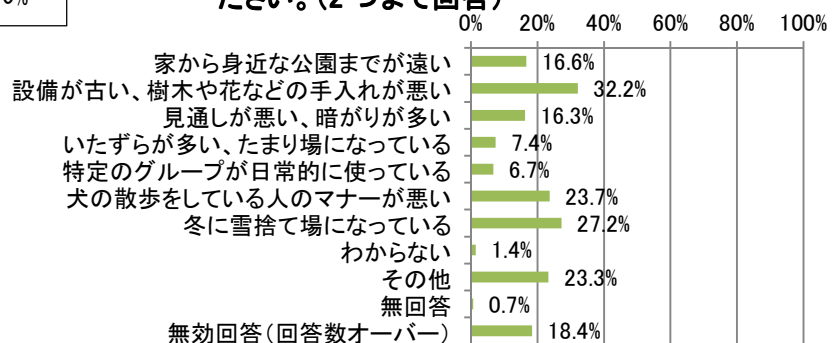
(7)あなたは、身近な公園を、子どもからお年寄りまで、誰もが楽しめる場所にするためには、どのようなことが大切だと思いますか。(2つまで回答)。



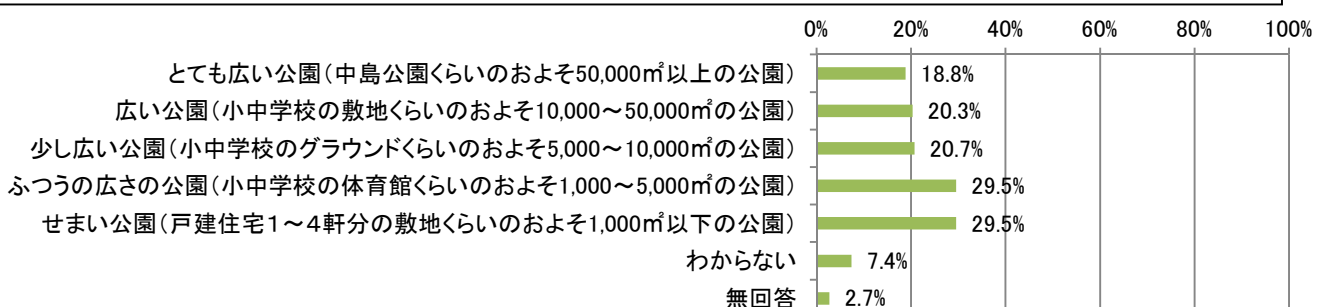
(8)身近な公園に対して、総合的に満足していますか。



(9)上の(8)の項目で「3 どちらかといえば、不満」「4 不満」を選んだ方にお聞きします。不満の理由は何ですか。特に不満だと思う理由を2つまで○をつけてください。(2つまで回答)



質問 2-3 あなたが行く身近な公園は、どの程度の広さの公園ですか。(複数回答)



◆アンケート調査結果

町内会アンケート【要領】

対 象：公園付近の 3 町内会
手 法：アンケートを町内会回覧等で配布。
公園入口に設置したポストに投函。
回収数：56件

【現在の藻岩ころころ公園について】

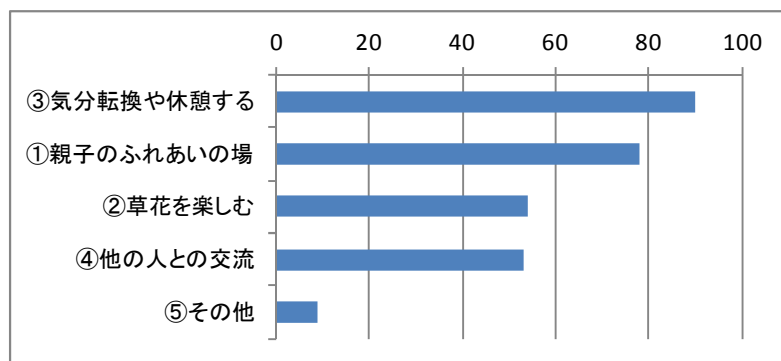
- ・「ころころ公園へはよく行きますか」の回答では、「たまに行く」が 12.5%であったが、「知らなかった」や「狭いので他の公園に行く」の回答が多くあった。
- ・自由回答でも「閑散としてほとんど利用されていない」、「孫と出かけても座るところが少ないので、ベンチなど充実してほしい」との感想があった。
- ・「どのように利用していますか？」に対し、「散歩の途中で小休憩」が最も多く 10.0%で、次いで「遊具で遊ぶ」が 6.7%であった。

■藻岩ころころ公園をどのように利用していますか？

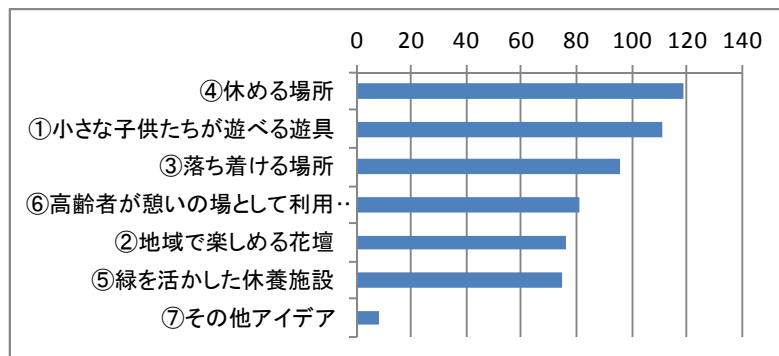
	回答数(人)	%
①遊具で遊ぶ	4	6.7%
②おしゃべりをする	1	1.7%
③休憩する	2	3.3%
④散歩の途中で小休憩	6	10.0%
⑤特に目的はない	3	5.0%
⑥その他	1	1.7%
無回答	43	71.7%
計	60	100.0%

【新しくなる藻岩ころころ公園について】

- ・「どのようなことができれば良いか？」について、希望項目を順位付けしたところ「気分転換や休憩する」が 1 位、「親子のふれあいの場」が 2 位であった。

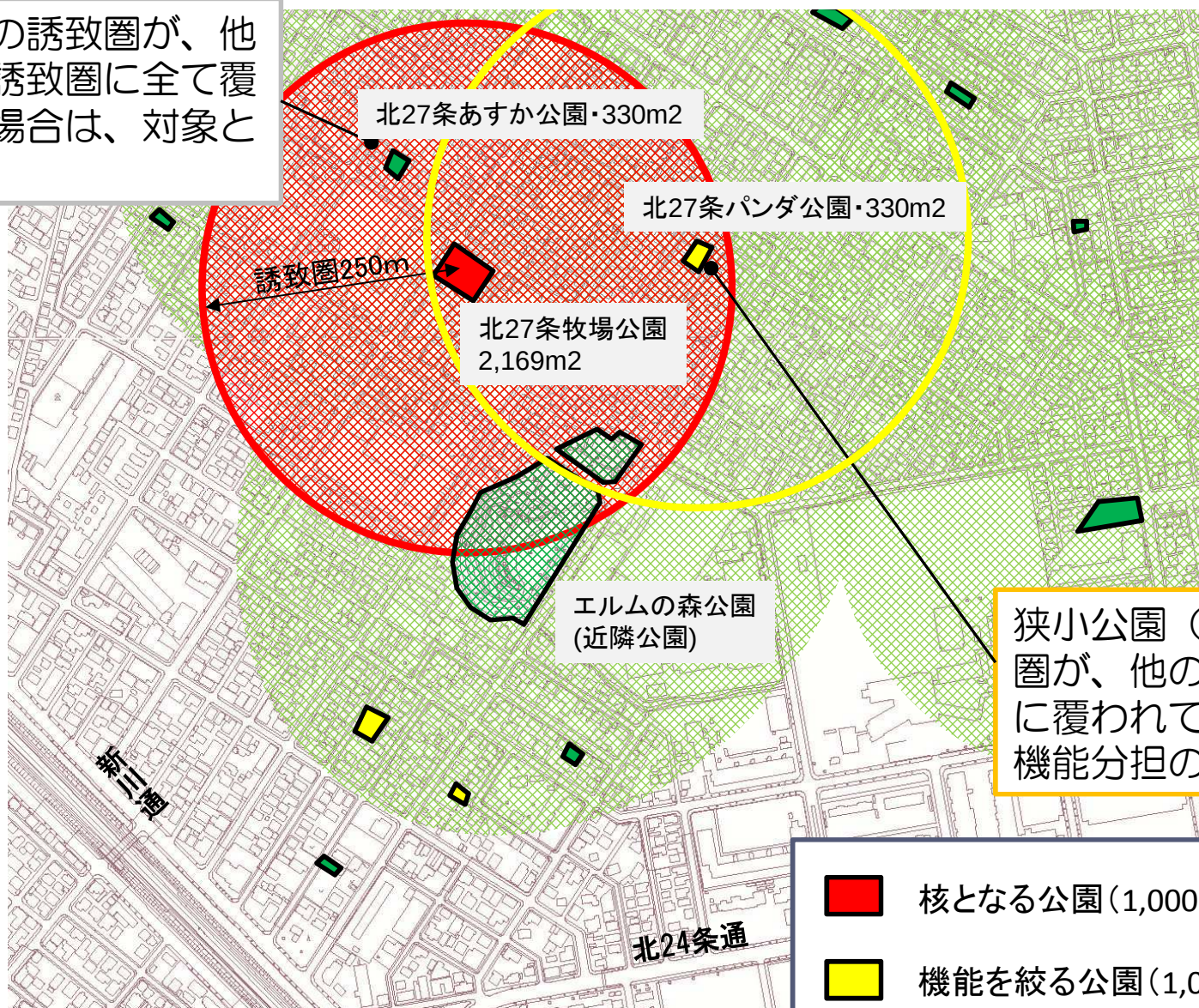


- ・「どのような施設ができれば良いか？」については、「休める場所」が 1 位、「小さな子供たちがあそべる遊具」が 2 位、「落ち着ける場所」が 3 位であった。



資料6 『機能分担の対象箇所例』(北区)

狭小公園の誘致圏が、他の公園の誘致圏に全て覆われない場合は、対象とならない



狭小公園（黄色）の誘致圏が、他の公園の誘致圏に覆われている場合に、機能分担の対象となる

- 核となる公園(1,000m²以上)
- 機能を絞る公園(1,000m²未満)
- 簡易改修の対象とならない公園